



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日

上場会社名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ 上場取引所 東
 コード番号 7327 URL <https://www.dhfg.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 殖栗 道郎
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 三島 康人 TEL 025-224-7111
 特定取引勘定設置の有無 無
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円、小数点第1位未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	200,104	39.5	48,944	64.5	33,904	59.7

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 81,536百万円(-%) 2025年3月期第3四半期 2,460百万円(△95.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 129.36	円 銭 —
2025年3月期第3四半期	80.92	—

(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施し、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり四半期純利益については、これらの株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 10,782,913	百万円 547,108	% 5.0
2025年3月期	10,977,796	478,870	4.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 547,102百万円 2025年3月期 478,864百万円

(注) 「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末非支配株主持分)を期末資産の部合計で除して算出しております。なお、本「自己資本比率」は、自己資本比率告示に定める自己資本比率ではありません。

2. 配当の状況(株式分割後で換算した配当金については下記(参考)に記載しております)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 112.00	円 銭 —	円 銭 75.00	円 銭 —
2026年3月期	—	81.00	—		
2026年3月期(予想)				27.00	—

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施し、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。

なお、2025年3月期および2026年3月期(予想)の年間配当金合計は、これらの株式分割の実施により単純合算できないため「—」として記載しております。

また、これらの株式分割を考慮した配当の状況は以下のとおりです。

(参考) 株式分割後で換算した配当金

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 18.66	円 銭 —	円 銭 25.00	円 銭 43.66
2026年3月期	—	27.00	—		
2026年3月期(予想)				27.00	54.00

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

	経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		(%)表示は、対前期増減率)	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	52,300	27.2	36,000	22.6		137.19

(注)1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。1株当たり当期純利益の額については、当該株式分割が当連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	275,657,868株	2025年3月期	275,657,868株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	13,253,862株	2025年3月期	13,880,616株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	262,090,105株	2025年3月期3Q	262,233,477株

(注)当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施し、2025年10月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施しております。期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数（四半期累計）については、これらの株式分割が前連結会計年度の期首に行われたものと仮定して算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

[添付資料の目次]

1 . 経営成績等の概況.....	P. 2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2 . 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(セグメント情報等の注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 8
(継続企業の前提に関する注記)	P. 8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	P. 8

※2026年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間の国内経済は、米国の関税政策の影響などから一部に弱い動きがみられたものの、雇用・所得環境の改善などから個人消費に持ち直しの動きがみられるなど、全体として緩やかな回復となりました。

当社グループの主要な営業基盤である新潟県内の経済につきましても、原材料価格の上昇等により、一部に弱い動きがみられたものの、企業収益および個人消費ともに改善の動きが続き、全体としては持ち直しの動きとなりました。

このような金融経済環境のもと、当第3四半期連結累計期間の損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

経常収益は、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したことを主因に資金運用収益が増加したことに加え、株式等売却益が増加したことを主因にその他経常収益が増加したことなどから前年同期比567億4百万円増加し、2,001億4百万円となりました。

経常費用は、預金利息が増加したことを主因に資金調達費用が増加したことに加え、国債等債券売却損が増加したことを主因にその他業務費用が増加したことなどから前年同期比374億96百万円増加し、1,511億59百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前年同期比192億8百万円増加し、489億44百万円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比126億82百万円増加し、339億4百万円となりました。

セグメントごとの損益状況につきましては、以下のとおりとなりました。

・銀行業

経常収益は、前年同期比556億92百万円増加し、1,744億39百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比202億76百万円増加し、462億51百万円となりました。

・リース業

経常収益は、前年同期比8億96百万円増加し、169億95百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比1億6百万円増加し、8億80百万円となりました。

・証券業

経常収益は、前年同期比2億53百万円増加し、42億94百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比1億18百万円増加し、17億43百万円となりました。

・その他

経常収益は、前年同期比63億27百万円増加し、228億28百万円となりました。セグメント利益（経常利益）は、前年同期比51億81百万円増加し、151億36百万円となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比1,948億円減少し、10兆7,829億円となりました。また、純資産は前連結会計年度末比682億円増加し、5,471億円となりました。

主要勘定の残高につきましては、預金は前連結会計年度末比1,028億円減少し、8兆4,191億円となりました。譲渡性預金は前連結会計年度末比905億円減少し、1,214億円となりました。

貸出金は前連結会計年度末比2,561億円増加し、5兆8,367億円となりました。

有価証券は前連結会計年度末比3,223億円減少し、2兆5,825億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の親会社株主に帰属する四半期純利益は、2026年3月期の通期業績予想比で約94%の進捗率となっておりますが、世界経済情勢の不確実性が高まっているほか、国内の政治情勢等による影響など、今後の金融市場動向を見極める必要があることから、2026年3月期の通期業績予想値につきましては修正しておりません。

業績予想に修正の必要が生じた場合は速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
現金預け金	2,147,289	2,018,494
買入金銭債権	14,121	12,312
商品有価証券	2,243	2,058
金銭の信託	4,947	4,949
有価証券	2,904,886	2,582,583
貸出金	5,580,589	5,836,771
外国為替	26,461	25,872
その他資産	206,444	217,297
有形固定資産	54,179	52,308
無形固定資産	6,741	4,900
退職給付に係る資産	32,977	33,962
繰延税金資産	8,348	2,666
支払承諾見返	19,352	19,327
貸倒引当金	△30,784	△30,591
資産の部合計	10,977,796	10,782,913
負債の部		
預金	8,522,003	8,419,159
譲渡性預金	212,011	121,479
売現先勘定	166,011	181,240
債券貸借取引受入担保金	367,662	358,162
借用金	965,660	929,581
外国為替	749	2,375
信託勘定借	20,198	23,303
その他負債	208,763	151,789
賞与引当金	2,581	222
役員賞与引当金	171	—
株式報酬引当金	931	1,009
退職給付に係る負債	745	686
役員退職慰労引当金	53	45
睡眠預金払戻損失引当金	814	681
偶発損失引当金	1,726	1,919
固定資産解体費用引当金	1,012	537
特別法上の引当金	28	28
繰延税金負債	3,566	19,943
再評価に係る繰延税金負債	4,878	4,312
支払承諾	19,352	19,327
負債の部合計	10,498,925	10,235,805

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	102,987	102,988
利益剰余金	331,103	351,835
自己株式	△8,692	△8,298
株主資本合計	455,399	476,524
その他有価証券評価差額金	△16,967	17,971
繰延ヘッジ損益	22,085	35,962
土地再評価差額金	5,281	4,760
退職給付に係る調整累計額	13,064	11,883
その他の包括利益累計額合計	23,464	70,578
非支配株主持分	6	5
純資産の部合計	478,870	547,108
負債及び純資産の部合計	10,977,796	10,782,913

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
経常収益	143,399	200,104
資金運用収益	87,292	103,178
(うち貸出金利息)	40,334	51,076
(うち有価証券利息・配当金)	36,751	41,262
信託報酬	101	99
役務取引等収益	26,511	29,177
その他業務収益	25,253	27,165
その他経常収益	4,240	40,484
経常費用	113,663	151,159
資金調達費用	31,655	34,865
(うち預金利息)	2,771	10,711
役務取引等費用	8,003	8,264
その他業務費用	20,836	51,919
営業経費	46,966	48,798
その他経常費用	6,201	7,311
経常利益	29,736	48,944
特別利益	368	401
固定資産処分益	368	101
固定資産解体費用引当金戻入益	—	299
特別損失	275	1,395
固定資産処分損	187	148
減損損失	83	1,246
金融商品取引責任準備金繰入額	4	—
税金等調整前四半期純利益	29,829	47,951
法人税、住民税及び事業税	7,498	14,228
法人税等調整額	1,107	△179
法人税等合計	8,606	14,049
四半期純利益	21,222	33,902
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	21,221	33,904

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	21,222	33,902
その他の包括利益	△18,762	47,634
その他有価証券評価差額金	△30,953	34,938
繰延ヘッジ損益	13,435	13,877
退職給付に係る調整額	△1,244	△1,181
四半期包括利益	2,460	81,536
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,459	81,538
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	118,189	15,820	4,017	138,026	5,866	143,892	△493	143,399
セグメント間の内部経常収益	557	277	24	860	10,634	11,495	△11,495	—
計	118,747	16,098	4,041	138,886	16,501	155,388	△11,988	143,399
セグメント利益	25,974	774	1,625	28,374	9,954	38,328	△8,592	29,736

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。

2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△493百万円には、ペーチェス法に伴う経常収益調整額△379百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△8,592百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、固定資産の減損損失額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	銀行業	リース業	証券業	計				
経常収益								
外部顧客に対する経常収益	173,669	16,730	4,265	194,665	6,391	201,057	△952	200,104
セグメント間の内部経常収益	770	264	28	1,063	16,436	17,500	△17,500	—
計	174,439	16,995	4,294	195,729	22,828	218,558	△18,453	200,104
セグメント利益	46,251	880	1,743	48,876	15,136	64,012	△15,067	48,944

- (注) 1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と四半期連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。
2. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、信用保証業務、クレジットカード業務等を含んでおります。
3. 外部顧客に対する経常収益の調整額△952百万円には、パーチェス法に伴う経常収益調整額△578百万円等を含んでおります。
4. セグメント利益の調整額△15,067百万円は、セグメント間取引消去等であります。
5. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	銀行業	リース業	証券業	計		
減損損失	1,205	—	38	1,243	2	1,246

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	5,309百万円	4,741百万円